

## 授業科目

## 臨床実習II (福祉用具)

<b>担当教員名</b> 東江 由起夫、義肢装具自立支援学科教員全員	<b>対象学年</b>	3	<b>対象学科</b>	義肢
	<b>開講時期</b>	後期	<b>必修・選択</b>	必修
	<b>単位数</b>	4	<b>時間数</b>	180

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

将来、義肢装具・福祉用具の専門技能をもって高齢者・障害者のQOL向上に貢献できる人材となるために、現場における対象者の状況、ニーズ、および求められる専門職としての役割を理解する。

## 授業の目的

専門職としての枠組みを広く捉えることができるようになるために、福祉用具・機器、車いす・シーティング、靴など、義肢装具以外の領域における“機器と身体との適合”について学ぶ。また、実習を通じて、広い視野で患者様や障がいをお持ちの方を捉え、彼らのQOL(生活の質)向上に“機器のサービス”によって貢献しうる人材となる。

## 学習目標

1. 対象者や実習指導者を含めた周囲に対し、専門職を目指す学生として良好な態度と礼節をもって接することができる。
2. 対象者のADLおよびQOL評価を行うことができる。
3. ADLおよびQOL評価の結果に基づき、これらの改善が可能な福祉用具の提案を行うことができる。
4. 福祉用具等の使用により対象者のADLおよびQOLがどのように変化したか、客観的に評価することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	学内	学科全教員 他
2-88	福祉用具・機器関連施設における臨床的な実習(4週間)	学外(実習指導者)	義肢装具自立支援学科教員全員
89-90	実習セミナー(報告会)	学内	学科全教員 他

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	配布資料：臨床実習IIの手引き					

## 評価方法

臨床実習指導者による評価、臨床実習報告書の内容により評価する。

## 履修上の留意点

身だしなみや言葉遣い、守秘義務に関わる事項など、各留意点の詳細についてはオリエンテーション時に確認を行う。

## オフィスアワー・連絡先

研究室：L304

連絡先：agarie@nuhw.ac.jp

対応可能な日時等については、授業開始時にお知らせします。